

『私たちと森のこれから』

# 村上市森林組合

〒959-3905 村上市府屋 121-2  
 電話番号：0254-77-3121  
 Fax 番号：0254-77-2908  
 URL: <http://www.e-woods.com>

私ども林業に携わる者として、災害が発生する度に、森林荒廃が被害の拡大に繋がっている状況を見ますと大変憂慮すべき事態であります。健全な森林整備・保護の重要性を改めて考えさせられることでもあります。一方、日本の林業において長らく木材価格の低迷もあって素材生産業者が年々減少し、それに伴い、山で働く山林従事者の確保も難しくなっており、木材の生産は大変厳しい環境下にあると思われまます。こうした中で、森林の有する公益的な機能の維持増進を進め、森林整備の財源に充てるため、本年四月か

また、これまで以上に市場動向に呼応した木材加工に努めなければと思っております。組合における森林整備も木材加工も安全安心な職場を目指した環境づくりを進めることも大事なことです。さまざま課題がありますが、組合員の皆さまの期待に沿うよう役職員一同努めてまいりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。



## ご挨拶

代表理事組合長 齋藤 甲三

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も組合員の皆さまにとって幸多き年でありますようご祈念申し上げますとともに、組合運営に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたびの能登半島地震では、石川県をはじめ県内でも甚大な被害が発生いたしました。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、被災現場において復旧支援にご尽力されている皆さま方に感謝を申し上げます。一日も早い復旧・復興を只々願うばかりです。

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も組合員の皆さまに

らスタートする「森林環境税」は、林業活性化の起爆剤として大いに期待ができますので有効活用にご意見を申し上げます。

また、国では、スギ花粉症対策を本格的に進めることとしており、森林・林業・木材産業を取り巻く状況が新たな段階に入ると考えられます。これを契機に、多くの皆さまが今一度森林を意識し、関心を寄せたいだくことに繋がればと願っています。

山北地域の豊富な森林資源をどう活かしていくのが最大のテーマです。それには「担い手の確保」、「木材利用の促進」が喫緊かつ大事な点です。担い手の確保には若者のニーズをしっかりと捉え常に意識する姿勢が大切です。木材利用の促進にあたっては、国県等の公共事業においても更なる積極的な活用を強く呼びかけていきます。

また、これまで以上に市場動向に呼応した木材加工に努めなければと思っております。組合における森林整備も木材加工も安全安心な職場を目指した環境づくりを進めることも大事なことです。

さまざま課題がありますが、組合員の皆さまの期待に沿うよう役職員一同努めてまいりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

## ◆◆◆農林中金と共に村上市へ木製品を寄贈しました◆◆◆

11月1日、農林中央金庫によるCSR事業(社会貢献活動)の一環で、自治体へ木製品を贈る式典が、村上市スケートパークを会場に行われました。この事業は林業・木材業への知識と理解を深めてもらうことを目的として、その年に選ばれた市町村等に対し、農林中央金庫が事業費100万円ほどを上限として負担し、当該地域の木材を活用した木製品または木質系商品等を寄贈するというもので、今年度は寄贈先自治体に村上市が、木製品製造者に村上市森林組合が選ばれ、この度贈呈されました。

写真左から、

- ・大成ロテック(株)北信越支社の山本支社長、
- ・村上市の高橋市長、
- ・農林中央金庫富山支店北陸営業第二部の浅野部長、
- ・村上市森林組合代表理事の齋藤組合長、
- ・村上市役所農林水産課の小川課長(進行役)

会場：村上市スケートパーク



寄贈された木製品は『屋外用コンピテーブル』。全10基分の目録を渡し、村上市長より木製の感謝状が※手渡され、関係者一同で記念撮影。 ※木製の感謝状についても村上市森林組合が製作。この屋外用コンピテーブルの特徴は以下の通り。

- ・村上市産杉材を使用。製材～乾燥工程を経て、加圧注入防腐処理を施し耐久性を高めた製品。
- ・屋外でも木材本来の色合いと質感をより長く持続させるため、大成ロテック(株)と共同開発した保護塗料「モッコート」で表面を塗装し、耐候性を高めた製品。

設置場所は市内各所で、①日本国ふれあいパーク(小俣)、②村上市スケートパーク、③道の駅神林、④いこいの森児童公園、⑤養護老人ホームやまゆり荘に設置されています。

## 職員を募集します！

村上市森林組合では職員を募集しております。事務職員2名、森林整備技術職員2名、詳しい内容についてはお問い合わせ下さい。ご応募お待ちしております。

お問い合わせ 村上市森林組合 総務課 TEL: 0254-77-3121

◆◆◆令和6年度 森林整備部門からお知らせ◆◆◆

★目標林型に応じた森林整備の支援

国は、目標林型に応じて適切に①主伐・再造林、②間伐、更新伐を実施するため、整備の考え方について以下のように示したので皆様にお知らせいたします。

①主伐・再造林の支援

○今まで主伐に対しての支援はありませんでした。令和6年度から花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植え替え等を促進するとともに、間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進めることとし、今までの事業を拡充し、特定機能回復事業（林相転換特別対策）を創設して伐採経費の一部を補助対象に追加します。

事業内容：スギ人工林で行う標準伐期齢以上のスギ人工林の伐採、少・無花粉スギや広葉樹苗の植栽（伐採から植栽までの一貫施業）  
 事業主体：市町村、森林所有者と協定を締結した森林組合等  
 （協定：施業後10年間の皆伐禁止）  
 事業規模：0.1～2.5ha（林相転換の範囲が一連の拡大地とならない範囲）  
 補助：再造林費に加えて新たに伐採経費を補助

②間伐、更新伐の支援

○スギの単層林の長伐期施業では80年ほどのサイクルで伐採し、再造林により若返り化します。現在、森林経営計画樹立区域では90年生まで間伐の対象となっていますが、間伐は概ね10～20年で1回間伐することとしており、間伐の効果が発揮できるよう最終的な間伐を70年生までに終えるものとします。令和7年度から70年生まで（予定）。

○更に、スギ林の林分密度を落とし、複層林化する場合は、更新伐（90年生まで）で対応することとしています。（間伐、更新伐の補助金単価設定は80m<sup>3</sup>/haまで。）

※詳細については、森林整備課（77-3121）にお問い合わせ下さい。

【理事会報告】令和五年十月二十七日

◎議決事項◎

- 一 後期末手当の支給について
- 二 AEDの設置について
- 三 固定資産(中古製材機等)の購入について
- 四 コンプライアンス態勢運営要領の一部改正について
- 五 理事の自己取引の承認について
- 六 退職給付金の支給について

【理事会報告】令和五年七月二十九日

◎議決事項◎

- 一 専決処分(役員退任慰労金の支給)について
- 二 総務委員会の休止について
- 三 山北林業センター外壁材飛散防止養生ネットの設置について
- 四 山北林業センター解体及び新事務所新築に係る組合方針について
- 五 特殊伐採ウインチの購入について
- 六 前期末手当の支給について

【理事会報告】令和五年十二月二十一日

◎議決事項◎

- 一 退職給付金の支給について
- 二 議案取り下げの承認について
- 三 コンプライアンス態勢運営要領の一部改正について

今後の理事会予定 令和六年二月上旬

2つの項目について要望活動を行っています

1. 労務単価の引き上げを…

全国的に、山林作業に従事する林業作業者の所得は他産業と比較して非常に低いです。また、月給制を適用している事業体は全国では全体の50%程度で、決して安定した雇用環境とは言えない状況です。

公共事業の見積基準となる新潟県の公共事業単価は、現在、土木の特殊作業員の労務単価を採用しています。このため、公共事業労務単価項目には森林作業、伐倒搬出、造林など林業作業に係る項目が一切明記されていません。

また、他産業と比べ、労災事故は10倍以上と危険な厳しい自然環境下での作業なので、林業作業独自の公共事業労務単価があってもおかしくはありません。

まずは、雇用環境を整えなければ労働力の確保、事業体の基盤強化は望めません。林業作業者の所得向上を図り、労働力を確保することが喫緊の課題です。

このようなことから、素材生産地である県北地域の6つの森林組合（いわふね森組、関川村森組、東蒲原森組、さくら森組、中蒲みどり森組及び当組合）で国会議員並びに県議会議員に、「公共事業労務単価表項目へ森林作業の位置づけ」と、「労務単価の大幅な引上げ」について、関係省庁等への働きかけを要望しているところです。



2. 木材利用の促進を…

新潟県内では多くの県産材が使用されており、とりわけ林業情勢の厳しい折、更なるその利用拡大が望まれています。

そこで、木材の利用促進のため、県内で流通する構造物の基礎や土留めなどに使用される「木杭」を「県産スギの杭」に変えていただくことを、中越よつば森林組合等の皆さんと、去る1月25日、県庁知事室において花角知事に面会し要望いたしました。

ご承知のとおり、木杭と言えば「マツ」が主流で、そのほとんどは長野県産のマツです。新潟県農地部の基礎木杭設計指針では、基礎木杭の定義として、「樹種は針葉樹（マツ、スギ等）とする。」とし、また、「木杭の選定にあつたては、県産材の利用推進に努めるものとする。」とも明記しています。

つまり、全てではないにしろ、県の公共工事においてスギの木杭も利用しようということを県自らが示していますので、可能な限り利用拡大を図っていただきたいと要望したところです。また、公共工事で積極的な利用が促進されれば、民間工事への波及も期待できます。